
婦人会報

令和六年
2月2024年
立教187年



天理教婦人会旭日支部

通巻536号

三月例会案内

日時 三月五日（火）午前十時
 場所 旭日大教会
 内容 教祖祭

お願い
 お願い
 ておどり（後半下り）
 おふでさき拝読
 お話（おふでさき 第十二号より）
 高天委員部 関 薫
 昼食



女子青年例会案内

日時 2月25日（日）12時集合
 場所 旭日大教会
 内容 女鳴物の練習
 持ち物 ハッピー、琴をしい方は琴爪
 ※氏名、希望の鳴物を18日までに女子青年か
 係まで伝えてください。



三月例会役割

扨者	山崎さとえ	森下由紀子
賛者	山本ひとみ	辻 花子
指図方	山村 美恵	
地方		後半
笛		
ちゃんぽん		
拍子木		
太鼓		
すり鉦		
小鼓		
琴		
三味線		
胡弓		

二月月次祭炊事当番

教会	直轄	十津川
係員	藤井 優子	山村 信子

◇午前九時までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

二月月次祭託児ひのきしん当番

教会	朝和	
係員	松田 朱里	

◇今月より託児を再開させていただきます。
 ◇午前九時十五分より祭典終了までです。



「おつとめの心構え」

vol.16

今回は「十二下り目」
について述べさせて
いただきます。



● 十二下り目（慶応三年）【参考文献『みかぐらうたの世界をたずねて』道友社編】

◎ 一ツ

いちにだいく※1のうかゞひに
なにか※2のこともまかせおく

一ツ 何よりもまず、大工の扇の伺いに、すべてのこ

とを任せておく

※1 「だいく」

※2 後の本席、飯降伊蔵のことを指す。

◎ 二ツ

ふしぎなふしんをするならば
うかゞひたてゝいひつけよ

二ツ 不思議な普請をするのであれば、扇の伺いを立

てて、事を進めよ

◎ 三ツ

みなせかいからだんく〜と
きたるだいくににほいかけ

三ツ みな世界から次々と寄り来る大工に匂いをかけ
る

◎四ツ

※₃
よきとうりやうかあるならば
はやくこもとへよせておけ

◎五ツ

※₄
いづれとうりやうよにんいる
はやくうかぐいたてよみよ

◎六ツ

むりにこいとハいはんでな
いづれだんくつきくるで

◎七ツ

なにかめづらしこのふしん
しかけたことならきりハない

四ツ

良い棟梁が居るならば、早くこちらへ寄せて
おけ

※₃ 「よき」

① 「良(善)き」。 ② 「陽気」の約まったもの。
③ 大工道具「与岐」

五ツ

いづれ棟梁が四人要る。早く伺いを立ててみ
よ

※₄ 「いづれとうりやうよにんいる」

|| 「みかぐらうた」中には、「よきとうりやう」

「あらきとうりやう」「こきいくとうりやう」

「たてまへとうりやう」の四つの表現が見られる。

六ツ

無理に来いとは言っていない。いづれ次第に
ついて来る

七ツ

何とも珍しいこの普請。取り掛かったなら限
りなく続く

◎八ツ

やまのなかへとゆくならば
※5 あらきとつりやうつれてゆけ

八ツ

山の中へと行くのならば、あらき棟梁を連れて行け

※5 「あらき」

|| 新木、荒木、新しい原木を担当して、荒ごなしの製材をする係。

「あらきとつりやう」右の係を担当する大工の元締め。頭となる者。

◎九ツ

これハこざいくとつりやうや
たてまへとつりやうこれかな

九ツ

これは、小細工棟梁。これは、建前棟梁。これは、かな（鉋）

◎十ド

このたびいちれつに
だいくのにもそろひきた

十ド

とうとうこの度一斉に、大工の人衆もみな揃い来た

十二下り目（慶応3年）

陽気ふしん実働開始が表現されています。これから世界たすけの陽気ふしんに取りかかると歌われ、私たちに陽気ぐらし世界建設の一役を担うよう求められ、実現を託されています。十二下り目は、他の下りには見られない特徴が多くあります。

「だいく」「とつりやう」の手振り。中でも座つて墨付けする所作。前に出した足は戻さない。

「いひつけよ」「にほいかけ」「よせておけ」「たてゝみよ」などと、命令ともとれる語が目立つ。他の下りにみられる「なれば」が、すべて「するならば」「あるならば」「ゆくならば」と口語的表現になっている。

「昨年よりも一歩前に」

城久委員部 庄司典子

立教百八十七年の新春を迎えさせていただきました。

コロナ禍を乗り越えて、教祖百四十年祭活動三年千日の二年目の元日に能登半島に大地震が起こり大勢の方が被害に遭われ、毎日過酷な状況の中懸命な救援がなされています。

被災地では今だに不自由を強いられ眠れない夜を過ごしておられる方々が大勢おられます。親神様からお見せいただいたこの大節を我が事として三年千日のたすけのお急ぎ込みであるとか心を引き締めて通らせていただかなければならないと思案しています。

ます。

何か出来る事はないか、たすけあいの急務を思案し被災された方々の一日も早いたすかりと復興を心から祈念しています。

コロナ禍になり行動が制限され行事も自粛されていた中、このまま自粛しているだけではコロナ禍が明けた時に出遅れてしまう、さあ！と前に進んで行けるようにと旭日支部としての実行項目を

- 一、真剣におつとめをつとめ世界のたすかりを祈りましょう
- 一、教えを学びましょう
- 一、今、自分に出来るひのきしんをしましょう

と掲げていただき歩んでまいりました。私自身、実行出来てきたか振り返った時、反省する事はかりです。

コロナ禍で緊急事態宣言が発令され

ていた時、このまま自粛しているだけではいけないと思い、（以前から教会に出入してもらおうきっかけの一つになればと、にをいがけの心で地域の子供さんや大人のピアノ教室をしていたのですが）新たに音楽療法士の資格、シニアのための脳トレピアノ、歌う事で脳の活性化を促す講座の認定講師の勉強をし始め資格免許を取得いたしました。六十歳を過ぎてからの新しい事へのチャレンジ、人との出会いもありました。

昨年からは、自分自身の見識、視野も広げたいと思い、城陽市社会福祉協議会「傾聴ボランティア」に入り一人暮らしの高齢者さんのお宅、高齢者施設、障がい者施設を訪問したりしています。一緒に傾聴訪問をしている方が同じ自治会の方で、「音楽療法士の資格を持っていますので、どこかにボランティアで行かせても

らいたいと思っています。」とお話を
してましたら、自治会の老人会で
毎月一回、自治会所でラジオ体操を
しているのだけれど、ラジオ体操の
後にしてもらいたいと依頼がありま
したので、行かせていただく事にな
りました。

ピアノキーボードを自治会会所に
持って行き、パタカラ体操、早口言葉、
口腔ケア、嚙下予防になる内容、季
節の歌や思い出の曲等の歌詞も何曲
か用意し、私が演奏して皆で歌った
りしています。皆さん、楽しいと喜
んで下さっているようで有難いです。
「ふるさと」という歌を唄う時に「皆
さんの故郷はどちらですか？」とお
一人ずつお尋ねすると、「天理です。」
とおっしゃる方がおられました。天
理教は信仰されていないのですが、
「天理のしだれ桜は凄く立派で綺麗で
すね。」と別席場の前のしだれ桜の事
をおっしゃっていました。「そうです

よ。秋には銀杏並木も綺麗な所があ
ります。」と言うと他の方も「今度老
人会の日帰り旅行で行こうか。」と言
われたので「是非是非、ご案内しま
す！」と申しました。

会長も自治会長や校区の青少年健
全育成会議会長をつとめさせていた
だいています。

地域の方々の中で天理教と聞くと
構える方もおられますが頼りにして
いただけるように接しさせていただ
きたいと思っております。地域の方々
のお役に立てるようにコミュニケーション
シヨンをとって、にをいがけに繋が
るようになれば有難いと思ってお
ります。



今、京都教区婦人会洛南支部主任
という立場も与えていただいております
ますが、教区婦人会例会では『稿本
天理教教祖傳』の勉強をさせていた
だいております。『教祖伝』を読み解い

ていきますと教祖のひながたを辿り、
教祖百四十年祭三年千日を通らせて
いただく事の大切さを心に深く感じ
させていただけます。



いよいよ来年六月一日には旭日大
教会創立百三十周年記念祭、今年三
月三十一日には決起大会が執行され
ます。

親神様教祖に昨年よりも一歩成人
した姿をご覧いただきお喜びいた
だけますように、自分の足元をよく見
て、今何をさせていたただかなければ
ならないか、親神様から年頭にお見
せていただいた事象、思召しを思案
して、気を引き締めて歩ませていた
だきたいと思っております。

「能登半島地震募金のお知らせ」

大教会では三月三十一日まで募金を受け
付けています。募金は天理教災害救援ひ
のきしん隊基金に寄付いたしますので、
お心寄せをお願い致します。

勇むくと

勇むくと口で勇んだ処が、日々どうよ
こうよこれが難しい。

(おさしづ 明治26年2月6日)



発行日 令和六年二月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八

天理教婦人会旭日支部

大教会創立130周年記念祭決起大会

(第53回少年会旭日団総会)

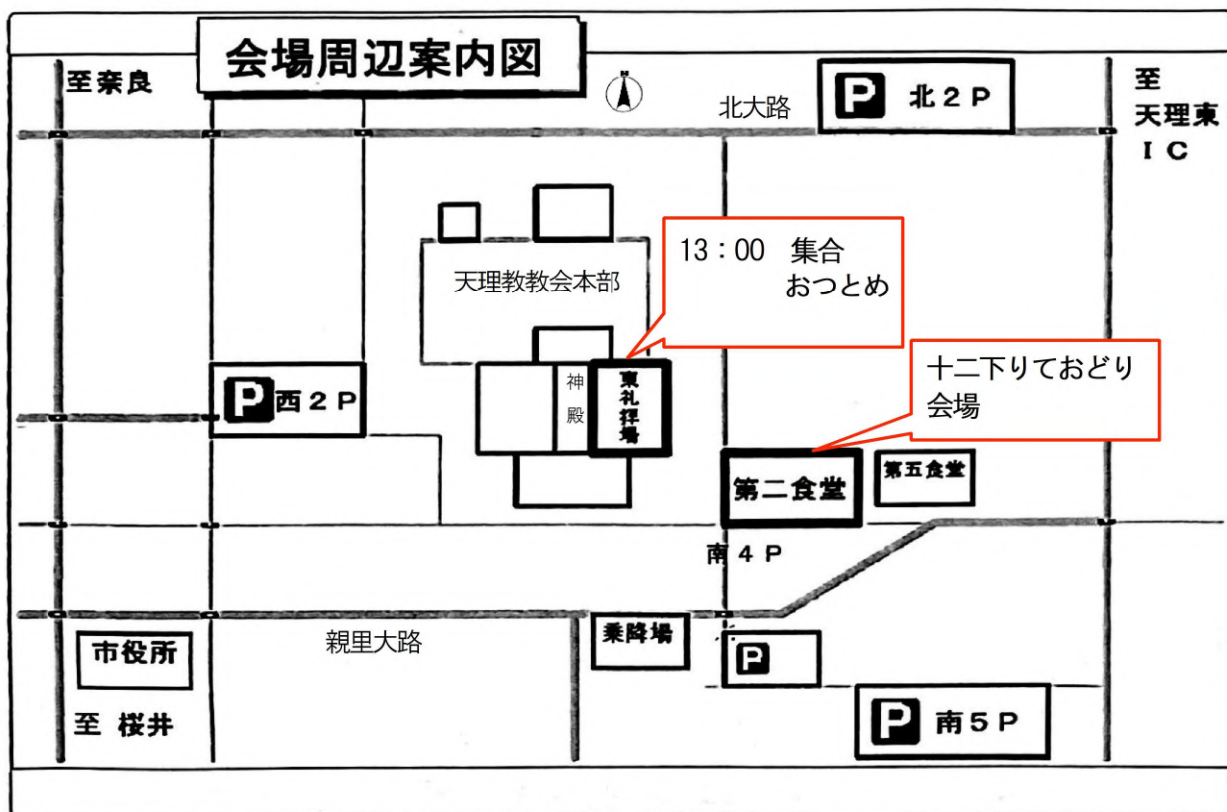


令和6年3月31日 (日)

- 13時 おつとめ (東礼拝場)
旭日の旗の下に集合
おつとめ終了後、その場にて
教祖・霊様を礼拝
移動
- 13時30分 受付開始 (第二食堂)
- 14時頃 開会の辞
てをどり総立ち
世話人先生ご挨拶
決意の言葉
- 15時50分 解散予定

創立130周年記念祭決起大会は、旭日につながる方々とおぢばでおつとめをつとめ第二食堂で十二下りておどりをします。当日は、第53回少年会総会と兼ねております。少年会員、女子青年、茜の会、桜の会、青年会の若い方を中心に鳴物をつとめていただきます。教会につながる皆様にお声かけくださいますようお願いいたします。

- ◎持ち物 扇一對
- ◎服装 ハッピー



車でお越しの方は、本部駐車場にお停め下さい。